

平成 30 年度尾道市立三幸小学校 全国学力学習状況調査結果について

【全国学力・学習状況調査】※数正答率

| 【国語A：主として知識】 | | | | | |
|--------------|------|-----------|------|------|------|
| | 全体 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 |
| 全国平均 | 70.7 | 90.1 | 73.8 | 74.0 | 67.0 |
| 広島県平均 | 73.0 | 92.5 | 75.8 | 76.7 | 69.7 |
| 本校平均 | 72.0 | 94.1 | 76.5 | 70.6 | 68.4 |

| 【国語B：主として活用】 | | | | | |
|--------------|------|-----------|------|------|--|
| | 全体 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | |
| 全国平均 | 54.7 | 64.6 | 45.6 | 50.8 | |
| 広島県平均 | 59.0 | 68.3 | 50.6 | 56.7 | |
| 本校平均 | 54.0 | 60.8 | 50.6 | 55.9 | |

| 【算数A：主として知識】 | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|------|
| | 全体 | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |
| 全国平均 | 63.5 | 62.3 | 72.7 | 56.9 | 60.1 |
| 広島県平均 | 66.0 | 64.4 | 75.5 | 58.3 | 61.1 |
| 本校平均 | 56.0 | 49.4 | 75.0 | 47.1 | 47.1 |

| 【算数B：主として活用】 | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|------|
| | 全体 | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |
| 全国平均 | 51.5 | 58.4 | 52.4 | 59.9 | 45.1 |
| 広島県平均 | 54.0 | 60.9 | 55.7 | 64.4 | 47.2 |
| 本校平均 | 45.0 | 52.0 | 45.6 | 55.9 | 37.6 |

| 【理科】 | | | | | |
|-------|------|------|-------|------|------|
| | 全体 | 物質 | エネルギー | 生命 | 地球 |
| 全国平均 | 60.3 | 59.8 | 53.1 | 73.6 | 49.5 |
| 広島県平均 | 63.0 | 60.7 | 56.8 | 77.0 | 52.7 |
| 本校平均 | 57.0 | 58.8 | 55.9 | 67.6 | 44.1 |

今年度4月に実施した全国学力学習状況調査（6年 国・算・生活）の結果が8月下旬に公表されました。この調査から、本校児童の学力の実態や生活の様子が明らかになり、課題

も見えてきました。そこで、学習に関する状況と今後の取組についてお知らせ致します。

国語科においては、基礎的・基本的な知識・技能が身についているかどうかを見取る問題、活用問題ともほぼ全国平均と同じです。しかし、A 問題においては「読むこと」に B 問題については「話すこと・聞くこと」について課題が見られました。

算数科では、基礎的・基本的な知識・技能が身についているかどうかを見取る問題、活用問題とも全国平均を下回っています。

理科では、仕組みについて正しく説明することや予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することに課題が見られました。

これらの結果から、教科を問わず、文章の内容を理解する「読むこと」、目的や意図に応じて必要な情報を整理し、自分の考えをまとめて「書くこと」や「説明すること」が課題であることが明らかになりました。

この結果を受けて、各教科で重点課題を絞り、学年の系統性を考えた取組を学校体制で行ってきています。